

公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ

必修 開講年次：4年次前期 科目区分：実習 単 位：3単位 講義時間：135時間

■**科目のねらい**：地域における保健師活動の実際を体験し、地域住民の健康を支援する具体的な保健師活動の展開方法を学ぶとともに、関係機関や他職種との協働連携の意義を理解する。また、保健事業を通して、地域の健康課題の理解を深め、保健活動の管理と評価、社会資源の開発、健康危機管理などのコミュニティ全体への支援の実際を学ぶ。

■**到達目標**：1. 住民のセルフケア能力を高める支援方法や主体的活動を支えるための援助について理解する。
2. 地域の人々の生活や健康課題の解決に向けて行われる保健活動について理解する。
3. 地域の健康課題を明確にするために地域診断を深めることができる。
4. 地域の健康水準を高めるための保健事業や社会資源の開発・システム化・施策化を進める保健師の役割を理解する。
5. 健康危機管理発生に備えた管理体制を整え、発生時や発生後の保健活動と保健師の役割について学ぶ。
6. 学生として地域社会や組織の秩序を理解し、主体的・積極的に学習する。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎田中 里江・清水 光子・櫻井 繭子・近藤 圭子・河原田 まり子

■**授業計画・内容**：

別途配布する「公衆衛生看護学臨地実習要項」に基づいて、下記のスケジュール・実習施設で実施する。

<平成28年度スケジュール概要>

- ・保健所・市町村の実習を併せて3週間とする。
- ・学内オリエンテーション1（実習全体）：5月上～中旬予定
- ・保健所実習（総合オリエンテーション）：5月中旬予定
- ・学内オリエンテーション2（実習施設別）：5月下旬予定

※学内オリエンテーション、保健所実習は公衆衛生看護学臨地実習Ⅰと共通

<実習期間> 平成28年6月13日（月）～同年7月29日（金）うち、3週間

<実習施設> 札幌市保健所（1）、保健センター（9）、区役所（9）、根室保健所（1）、根室市役所（1）、中標津保健所（1）、羅臼町（1）、別海町（1）

■**教科書**：保健師コースで使用したものを活用するため、新規購入はない

■**参考文献**：関連科目で使用した資料や実習施設より配布された行政資料等

■**成績評価基準と方法**：実習への参加状況、記録・レポートの内容から、目標1～6の達成度を評価する。

下記の評価方法に基づき、目標1～6の達成度を評価する。

評価方法	実習目標		評価基準	評価割合 (%)
	目標1～5	目標6		
記録	◎	○	記録・レポート・カンファレンスの評価を総合して、目標1～6の達成度を判断する。	70
レポート	◎	○		20
カンファレンス	◎	◎		10
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えない

■**関連科目**：公衆衛生看護学概論・公衆衛生看護援助論ⅠとⅡ・健康教育指導法・公衆衛生看護技術論・ヘルスプロモーション活動論・保健医療福祉制度論Ⅰ・疫学・保健統計・公衆衛生学

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：関連科目のすべてを統合した実習です。これまで履修した科目の内容を復習し、知識・技術ともに十分な準備をして臨んでください。体調管理に留意し、実習場面で積極的に思考・行動できる状態に整えましょう